

瑞雲

ずいぶん

直方鉄工青年会
第46代会長

石橋和彦

■平成22年度スローガン

FORGED BONDING

— 熱く叩き上げ、強く築き上げる絆 —

平成22年度直方鉄工青年会第46代会長を仰せつかりました石橋和彦と申します。一年間の任期ではございますが、何卒ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。
— 先に開催された4月通常総会懇親会では、アイスランド火山噴火の影響により復路便の都合がつかず、会の歴史始まって以来の会長不在による総会懇親会実施という事態となっていました。当日御列席の来賓の皆様ならびに特別会員各位には、大変なご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、あらためてお詫び申し上げます。

4月通常総会懇親会では不在とはなりましたものの、私自身はそんな中、乗り切ってくれた三役をはじめ、いろいろと指導頂いた各監事、そして担当として動じることなく臨機応変に対応してくれた総務委員会をはじめとするすべての会員の姿を後日映像で見て、また事後に会って会話をした際の清々しくも、まだまだもっとうまくやれたはずとい
— 真摯な姿勢を目の当たりにし、今年度の初月であるにもかかわらず、この一年もまた、素晴らしい一年に出来るという確信をもった次第です。ご来賓の皆様をはじめ、特別会員各位におかれましても、総会懇親会に会長不在の中、時間お付き合ひ頂き、また温かいお言葉や励ましを賜り、恐縮しつつもあらためて今年度の直方鉄工青年会への想いを新たに致しております。

今年度はスローガンとして“FORGED BONDING—熱く叩き上げ、強く築き上げる絆—”と言う言葉を選ばせて頂きました。我々直方鉄工青年会の真髄である「The 青年会」の瞬間をすべての会員が可能な限り多く共有出来る様、各事業や事業外活動の一つ一つの意味合いを共に丹念に考え抜きながら実施していきたいと思ひます。



また各担当副会長及び委員長・副委員長にあっても同様のスタンスで臨む事を理解して貰っています。

既述の今年度スローガンは、とすれば内向きで閉鎖的な印象を持たれてしまう可能性もあります。しかしそれは決してそうではなく、会員の皆がそれぞれの企業の経営や担当の仕事にあつていろいろな問題に直面しても踏ん張っていける、いや頑張らないと恥ずかしい、あいつには負けたくないという気持ちを原動力とし、結果的には大いに外向きかつ前向きであり、さらに前向きで在り続けるための抛り所になると思ひています。また若手らしく、関係諸団体や外部の皆様とも積極的な交流を持ちつつ、直方鉄工青年会からも情報を発信して行ける様、活動して参りたいと考えています。

昨年度、桑原前会長体制下、皆様のおかげをもちまして45周年の節目を迎えることが出来ました。これもひとえに日頃よりご指導、ご支援賜つております関係諸団体の皆様のお力添えあつてこそと御礼申し上げます。来るべき50周年に向けたあらたなる第一歩である今年度の重みを十分認識し、年度を通して関係各位並びに諸先輩の皆様にもいろいろと意見を賜りながら、副会長及び事務局と協力して会運営の先頭に立って邁進する所存です。どうか今年度も倍旧のご支援、ご指導を賜りますよう、そして会員拡大へのご協力も併せてお願ひ申し上げます、挨拶にかえさせていただきます。

※FORGED BONDING

FORGE: いわゆる鍛造の意の他、困難を乗り越えながらかたち造る、進んでいくというニュアンスを含む。

BONDING: (身内同士の) 絆の意

直方鉄工青年会 平成22年度組織図



*昨年度の新入会員です。

平成22年度 事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総務委員会	4月総会 懇親会	例会	例会	例会	例会	例会 自然体 体験事業	例会	例会	例会 肉体改造 事業	例会	2月総会 懇親会	例会
厚生広報委員会		瑞雲 発行			家族 対象 事業			産業 まつり				卒業生 を送る 夕べ 瑞雲 発行
経営委員会			健康 セミナー	経営塾			経営塾			特別会員 合同 新年会		
事務局	手帳 作成	会活 活性化 事業		夏まつり	初盆 参り						厄払い	

会章のご紹介

BADGE !

昨年度、直方鉄工青年会創立45周年を記念し、会章を製作しました。4月総会懇親会にてお披露目致しましたが、今後総会や特別会員合同新年会の際などにおいて着用致します。

スーツの胸元につけた時にバランスのいい直径17mmで、青年会のイメージカラーである深い青を基調とし、中央の銀色部分に青年会のロゴマークが入っております。

今後、このバッジを見かけた時は青年会員ですので厳しくご指導の程しくお願い致します。



新たな鉄男のご紹介

NEW FACE !

昨年2月に直方鉄工青年会に入会させて頂きました、株式会社筑豊産業の小野龍平と申します。

株式会社筑豊産業
小野龍平

大学卒業後は東京の企業に勤め4年、直方にかえり2年がたちますが、仕事ではまだまだ勉強の日々です。

今年で三十路を迎え、ある意味人生の岐路ではないかと考えている時に青年会に入る事ができたのは何かの縁ではないかと考えます。

青年会には歳の近い先輩の方がたくさんいます、そこでのいろんな話を聞き、たまには説教を受けそれを糧とし、成長していこうと考えています。

まだまだ、未熟者ですので何卒ご指導よろしく申し上げます。



今期は委員長・副委員長にフレッシュなメンバーが揃いました。意気込みが高じて座談会を開いた様です。



司会：厚生・広報委員会担当副会長：花田勇平
 総務委員会：内藤誠治（委員長）、得居健（副委員長）
 厚生・広報委員会：石橋正彦（委員長）、伊藤聡（副委員長）
 経営委員会：得居剛（委員長）、高倉章史（副委員長）
 ビデオ撮影：小野龍平（厚生・広報委員会）

司会：皆さん今晚は！本日は・・・(話が長い為省略)それでは先日
 の会長挨拶を踏まえ、委員長に今年度の委員会方針を語って
 もらいましょう。自分の言葉でお願いします。まず総会を終
 えて気の緩んでいる内藤委員長からどうぞ！

内藤：総会担当委員長だった為、とにかく当日はパニック状態で花田代行による歴史的な会長挨拶を実は余り覚えていませんが、一生懸命だった証拠とお許し下さい。ただ『The青年会』という言葉は熱く印象に残りました。会に入って日が浅いですが、早く『The青年会』を味わってみたいと思っています。

得居剛：おつかえっす！先輩から色々ないいお言葉を貰える事が青年会の一番のいいところだと思います。現在未熟ながら社長をしています、若くして社長になられた先輩がいるのでそうした方々のアドバイスをどんどん活かしてこれからもがんばります。

石橋：ようやく委員長やっていいとの許可が出ましたので、今年度は新しい事にチャレンジしていきます。(PRリーフレットやウェブサイト立ち上げ等)その中でいっぱい失敗をすると思いますが、本気で叱ってくれる先輩方がいます。その時に『The青年会』を感じれる様、全力で取り組みます。特に矢野先輩と平城先輩が卒業するのでいい思い出が作れる様、一年間かけて3月の『卒業生を送る夕べ』の準備をします。

司会：有り難う御座い・・・(省略)それでは委員長方針が出揃ったところで副委員長に今年度委員長の事をどう思っているのか、どのようにサポートしていこうと思っているのかを語って頂きたいと思います。

伊藤：会社の真向かいには(石橋)委員長も会長もいます。委員長は家も近所なんです。だけど、地理的に近いというだけでなく気持ちも近い、そういう副委員長でありたいと思っています。委員長の思っている事を汲みとって、言い足りないことや伝えきれない事を、補ったりサポートしていきたいと思っています。

石橋：先日早速先回りで仕事をこなして頂きました。実は・・・(石橋君の名誉の為割愛)

得居健：会長から(内藤)委員長からたくさんの事を学ぶ様言われました。一緒に活動する様になって感じたのは仕事がものすごく早いという事。一年間教わりながら事務処理を早くこなせる様になって委員長に少しでも楽になってもらいたいと思っています。

高倉：今期副委員長という立場です。これは会長から田淵副会長と共に(得居)委員長を支えていって欲しいとの直々の特命ですので喜んで引き受けました。監事も福山さんですし委員会には浅田さんもいます。役員会より委員会の方が厳しいという、委員長にとっては大変な一年になるとは思いますが一緒に頑張ります。



その後福山監事も参加し、話題は色々な方向へ・・・途中でビデオが途切れてしまった事に気づかなかった程、最後まで大盛り上がりの座談会となりました。

委員会同士絆を深める事ができ 気分はまさに**FORGED BONDING!** 今年度の大成功間違いないと早くも確信した夜でした。今後共、直方鉄工青年会を宜しくお願い致します。